



耐久高等学校同窓会報

耐久



国連「世界津波の日」制定記念懸垂幕

国連総会において11月5日が「世界津波の日」に採択されたことを祝し、同窓会より記念懸垂幕を寄贈。

「濱口梧陵翁の生き様・在り方を学ぶ耐久高校であれ！」という熱い願いが込められている。

NO. 37

ごあいさつ

同窓会長 大西義弘(高16期)



さまざまなこと思ひ出す 桜かな 芭蕉
早春の候 同窓会員の皆様には、お健やか
にお過ごしのことと存じます。

この度、本校の貴重な歴史資料などを展示
した「耐久史学館」が校舎内に新設されました。
本校創立者三翁(濱口梧陵、濱口東江、岩
崎明岳)が開いた稽古場から始まり、耐久社、
耐久学舎、私立耐久中学校、県立耐久中学校
へと変遷し、有田高等学校との合併を経て、
現在の県立耐久高校に至るまでの様々な歩み
を、年表や写真、図面などの資料で分かりや
すく解説して、展示しています。また、創設
者の一人である濱口梧陵と交流のあった偉人
たち、梧陵の思想や功績、安政大津波、学校
改革者の宝山良雄、本校を卒業した著名人ら
についても紹介しています。
常設展示していますので、是非一度、本校
にお立ち寄りください。なお、耐久にゆかり



のある物品、資料等をお持ちの方がございま
したらご協力下さい。

さて、昨年、私は濱口梧陵翁の遺徳に三度
感銘を受けました。

一つは、七月の「インターハイ近畿総体」
には皇太子殿下、九月の「きのくに和歌山国体」
には天皇・皇后両陛下が開会式にご臨席され
ました。その折に、広川町の「稲むらの火の館」
を視察されたことです。

もう一つは、「和歌山国体」開会式典前の演
技で、和歌山県の偉人四名が紹介されました
が、『稲むらに火をつけて村人を導き、命をつ
ないだ濱口梧陵』とアナウンスされ、大きな
幕が開かれたときの事です。胸が熱くなり、
深く感動しました。

そして平成二十七年十二月二十三日に、
十一月五日を「世界津波の日」とする決議が
国連総会で採択されたことです。濱口梧陵翁
の遺徳が、国際的に認められたのです。この

ニュースを聞き、早速「耐久リバース」を支援
する会」や本部同窓会役員会で協議し、清水
校長先生と相談し、表紙のような懸垂幕を作
成しました。

今、本校では校長先生はじめ先生方が丸
となり、「耐久リバース」の学校改革に全力を
上げ取り組んでおられます。同窓会役員も、
出来る限りの応援と協力をする所存でありま
す。

本年も、会員相互の親睦や旧交を温め、さ
らに「関東・関西・和歌山・有田耐久会」と
の交流をより深めて、楽しく・魅力ある同窓
会となるよう努めて参りますので、今後とも
ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上
げ、ご挨拶と致します。

平成27年度 同窓会総会開催

平成27年度同窓会本部及び有田耐久会総会
が、10月25日午前11時から湯浅町地域福祉セ
ンターで開催された。第一部は講演・アトラ
クション、第二部は総会議事、そのあと懇親
会がもたれた。参加者は86名であった。

第一部

は、清水
博行校長
が「耐久高
校の再生
(Rebirth)
にむけて」
と題し講演
された。厳
しい教育環
境の中で、



有田耐久会

会長 吉松敏隆
〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1985
耐久高等学校・同窓会事務局
Tel 0737-62-4148

関東耐久会

会長 大野博司
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12-1002
株式会社 オフィス ココ 桜パンケット
Tel 03-3359-9520

関西耐久会

会長 岡宏牟
幹事長 地引民子
〒563-0017 大阪府池田市伏見台3-8-1
Tel 072-753-1219

和歌山耐久会

会長 田辺善彦
〒640-8144 和歌山四番丁26番地の2
田辺法律事務所
Tel 073-431-2801

支部連絡先

平成 27・28 年度 耐久高校同窓会本部役員

役 職	氏 名	期	委員会	新任
会 長	大西 義弘	高16		
副 会 長	棚野 裕明	高18	会館	
副 会 長	坂本美恵子	高18	組織	
副 会 長	見矢 義夫	高21	会報	
副 会 長	神田 公子	高25	組織	新
会 計	森 裕美	高26		新
常任幹事	坂本 康寛	高18	会報	
常任幹事	法眼 貞子	高19	会報	
常任幹事	池永 義子	高21	会報	
常任幹事	野下 康雄	高23	会報	
常任幹事	和泉 保廣	高22	組織	
常任幹事	大浦 睦美	高28	組織	
常任幹事	弓場 守	高30	組織	
常任幹事	小畑 英三	高18	会館	
常任幹事	花野 正彦	定11	会館	
常任幹事	大西 和彦	高29	会館	
会計監査	半辺みつ子	高18		
会計監査	森岡 ゆか	高33		
顧 問	下野 憲英	高13		
事 務 局	白井 敏之	高34		
事 務 局	湯田 良英	高34		
事 務 局	戸川しをり	高36		

会報……会報委員会

組織……組織強化委員会

会館……会館建設委員会

平成 27・28 年度 有田耐久会役員

役 職	氏 名	期	新任
会 長	吉松 敏隆	高19	
副 会 長	山崎 佳彦	高22	
副 会 長	勝丸 健司	高22	新
副 会 長	三角 治	高25	
幹 事	池辺 正晴	高15	新
幹 事	和泉 保廣	高22	
幹 事	鈴木 宏明	高28	
幹 事	谷岡 義則	高29	
幹 事	弓場 守	高30	
幹 事	山田 展生	高31	
会計監査	生駒 正剛	高34	
会計監査	柳 実	高19	
事 務 局	古川 友子	高26	
事 務 局	宮井 順子	高28	
事務局会計	大浦 睦美	高28	
顧 問	下野 憲英	高13	
顧 問	柏原政夫美	高19	



耐久生の学力低下や大学進学状況の低迷が顕著になって久しいが、そうした現状を克服していくことが今、耐久に求められているとし、再生(Rebirth)の取り組みの現状やビジョンを綿密な資料を示しながら話された。また、豊かな高校教育の充実是有田地域にとって重要な課題でもある。生徒を伸ばし、学力のみならず人間として成長させることが大切である。そのため教育状況の変化に応じた改革が必要とされていると強調された。

アトラクションは、中国琵琶奏者の苑蓉さんのソロコンサートであった。力強く、かつ繊細、つやのある音色に聴き入り、最後の耐久校歌の演奏では全員が合唱した。

第二部は大西義弘同窓会長(高16期)、吉松敏隆有田耐久会会長(高19期)、清水博行校長の挨拶で開会した。挨拶で、大西会長は「今年は国体や天皇の稲むらの火の館ご訪問があった。そんな中であらためて濱口梧陵翁の遺徳に感銘した。耐久はこの精神に学ぶべきで耐久再生にはこの理念が示されている、全面的に支援していきたい」。吉松会長は「有田の耐久同窓生が気軽に集える会として活動している。本部同窓会を支えていきたい」と述べられた。来賓として、吉井和規県議会議員(高22期)、松阪英樹県議会議員(高31期)、浦口高典県議会議員(理数3期)、上山章善湯浅町長(高9期)、西岡利記広川町長(高21期)、則岡宏牟関西耐久会会長(高18期)、田辺善彦和歌山耐久会会長(高14期)、中田實宏和歌山耐久会幹事長(高17期)の方々が紹介された。

議長選出のあと議事に入り、先に本部同窓会議事が進められた。平成25・26年度の活動報告、きになった。

来賓の方々に挨拶を頂き、最年長の吉田元重氏(高2期)の乾杯発声後、各テーブルで歓談の花が咲いた。旧交を温めあい名残を惜しみながらの開



同窓会活動報告

2015(H27)年

9. 8 同窓会特別委員会(耐久リバースを支援する会)
- 8 四役会
10. 4 関西耐久会総会(ホテル大阪ベイタワー)
- 7 役員会
- 17 稲むらの火祭り参加
- 21 本部・有田合同会議
- 25 平成27年度総会(湯浅町地域福祉センター)
- 25 耐久史学館開館
- 29 耐久高校「志学ゼミ」協力
11. 13 和歌山耐久会総会(華月殿)
12. 8 四役会
- 8 耐久リバースを支援する会
- 15 会報委員会

2016(H28)年

1. 2 組織強化支援事業高36期同窓会(橘家)
- 3 組織強化支援事業高64期同窓会(鮎茶屋)
- 29 本部・有田耐久会役員新年会
2. 1 会報編集委員会
- 29 卒業生クラス代表との懇談会
3. 1 第68回卒業証書授与式

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。(事務局)

● 志学ゼミにご協力いただいた講師の先生方紹介

No.	氏 名	職 業
1	石橋 昭人	済生会和歌山病院理学療法士
2	板谷 龍夫	株式会社紀陽銀行屋形支店長
3	狗巻 正紀	株式会社島精機製作所メカトロ開発部電気機器設計
4	上野 真歳	株式会社とち亀物産代表取締役社長
5	上山 文和	東燃ゼネラル株式会社和歌山工場製油部製油第一課
6	大松 満至	有田市役所
7	岡田 亜紀	菱岡工業株式会社代表取締役
8	岡本 知子	有田市立病院看護師
9	河合 佑香	月山法律事務所弁護士
10	川端 一郎	株式会社川端不動産研究所代表取締役
11	菊屋 洋平	菊屋司法書士事務所司法書士
12	堺 俊樹	ターンバックル代表
13	鈴木 宏明	きのくに信用金庫公務・地域サービス室次長
14	津田 謙司	株式会社サンライズ専務取締役
15	永岡 雅次	スガイ化学工業株式会社取締役相談役
16	中島 章雄	株式会社和歌山放送代表取締役社長
17	西林 久子	社会福祉法人有田つくし福祉会理事長
18	三角 治	株式会社地域創生／一般社団法人絵本まちづくり協会理事長
19	宮井 将博	宮井クリニック院長
20	森本 真輔	株式会社丸十家具代表
21	弓場 守	湯浅広川消防組合消防本部警防課長兼副署長
22	横山 達慶	株式会社紀陽銀行人事部長

【50 音順・敬称略】

第1回「志学ゼミ」

1年生の「在り方生き方教育」の一環として、一般社団法人和歌山経済同友会、耐久高等学校同窓会本部、和歌山耐久会、地域関係者のお力添えをいただき、第1回の「志学ゼミ」を開講することが出来ました。(志学ゼミの名称は、孔子が15才にして学問を志した故事にちなんだものです)

● 目的

様々な分野で活躍されている人生の先輩を講師として迎え、教員とは異なる視点や感性での、生き様や社会との関わり方等についてのお話を傾聴する学習活動を通じて、生徒一人一人が心の琴線に触れ、「在り方生き方」についての認識を深める。

● 日時… 平成27年10月29日(木)
13時20分～15時40分

● 概要

- 1学年の生徒(202名)を22のグループに分割【1グループあたり9～10名】
- 志学ゼミ1回の時間は60分とし、グループを変えて2回実施
- 仕事や社会活動、現在に至る経緯、講師ご自身の人生訓、今の若者について感じることを生徒に語り、いただき、そのうえで生徒との質疑応答を実施
- 各グループに1教室を用意し、ゼミの進行等は出来る限り生徒自身が行う

☆講師の先生方からの声

- 自分たちの時代にはなかった試みなので、生徒にとっては将来の進路を考える上で大変役に立つ企画だと思います。
- 高校時代に色んな職業について生の話を聞く機会を作ることには、生徒達の将来にとって有意義なことだと思えます。少しでも刺激になっていればよいのですが…。
- 私が言いたかった事、伝えたい事がどこまで伝わったかわかりませんが、真剣な目をした生徒が多かったので安心しました。
- 学校の勉強、クラブ活動だけに促されず、このように広く社会の先輩方との話を聞くのは有意義なことだと思います。継続的に続けていけることを望みます。
- 私自身が耐久高校の卒業生なので、自分の頃と比べるとしっかりと考えたを持っている学生に驚かされました。私の内容が役に立っていたのかは疑問ですが、色々な質問をいただき、自分の考え方も再認識できました。
- 1年を通して授業計画を作成し、学校再生改革を進められている事は素晴らしいと思いました。講師をさせていだいて、私自身も自分の生きてきたこと、考えていたことを振り返り、まとめることができました。
- 真剣に話を聞いてくれたので嬉しかったです。まだ進路を決めていない子が多いようでしたが、前向きに頑張ってくれたらいいなと思います。
- 全体的におとなしい感じがしました。進んで発言する生徒は少な



☆受講した生徒達が印象に残った言葉

- 信頼関係が大切なので、表裏のない正直な人間になることが大事
- 強みは何もしないでも伸びていくから、弱みをほったらかしにしないこと
- 物事は続けていくことが大事
- 自分自身のプライドを大切に
- 何事にもふてくされず、前向きに一生懸命取り組む
- チャンスは一瞬なので、それに気づき、つかむ
- 本気で自分を叱ってくれる人は真心を持っている人
- 大人になって重要なことは笑顔自分にとって得意と不得意を理解し、生かすことが大事
- 理不尽なことがあってもめげない
- 友達を大切にし、人に嘘をつかず正直に生きる
- 反省はしても後悔はしない

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を！

特集

今、「稲むらの火」と「濱口梧陵」は

稲むらの火の館館長 崎山光一（高20期）



我が耐久高校の創立者、濱口梧陵翁は教育振興、医学への貢献、明治新政府の駅通頭、初代県議会議長等、商人でありながら、民間人でありながら幅広く活躍されました。こういうことは同窓の皆さまには先刻ご承知の通りで、一番の尊敬の対象でもあると思います。そして、皆は親愛の情を込めて「梧陵さん」と呼んでいます。

「梧陵さん」は今、改めてその偉大さが注目されています。それはやはり「稲むらの火」の主人公としてです。「稲むらの火」はご承知のとおり、安政津波の際の梧陵さんの大活躍をラフカディオ・ハーンが「A Living God」に書き、世界に発信したことにより、津波防災の教材として今も重要視されているものです。昨今、改めて注目されているというのは、やはり平成23年に起こったあの東日本大震災による大津波以来、梧陵さんの安政津波の際の避難誘導から堤防築造までの一連の行動が津波防災の神様のように崇め奉られているのです。

私の勤務する「稲むらの火の館」も、



東日本大震災以来、多数の来館者を迎えてきました。たしかに、あの東北の大津波を目の当たりにした以上、津波に無関心では居られなかったのは確かです。和歌山県内ばかりではなく、近畿圏、中部、中国、九州そして東北からも見学に来られました。次に津波が襲ってきた時には、確実に逃げ切る事を誓ってくれていると思います。

平成27年「稲むらの火の館」に大きな出来事がありました。

7月26日、皇太子殿下が行啓で御来館されました。全国高校総体の総合開会式へご臨席のため来県されたのを機会に地方事情御視察のためということでした。殿下は、最近入館者が少し減っています、とのご説明に、「津波への関心が薄れるのは心配ですね」とおっしゃられ、「最近、広川町では大きな災害はないですか」とお気遣いいただきました。



2ヶ月後、今度は天皇皇后両陛下が行幸啓で御来館されました。

たいへん光栄な事ですし、「稲むらの火の館」の館長として言葉に言い表せない位の感激する出来事です。両陛下は「稲むらの火」にたいへんな関心を持たれていました。そして、災害ということを非常に心配されているのが説明役の私にも伝わってきました。被災地を訪問された思い出話をされているのも、ほほえましく感じました。

もう一つ、本年12月23日（ニューヨーク時間12月22日）、国連総会において「稲むらの火」の11月5日が「世界津波の日」に制定されました。これもたいへんうれしい出来事です。あの安政

津波の時、濱口梧陵さんが大地震を感じて津波の襲来を予測し、村人に避難を呼びかけた。この気転のきいたすばやい行動が「稲むらの火」として今日も津波防災の教材として活用されている。「稲むらの火」の物語と主人公「濱口梧陵」の行動を世界が認め、教訓としようということでした。日本政府が提案をしたと言っても、142カ国が共同提案し、満場一致で賛同したということです。今後は「稲むらの火」と「濱口梧陵」の行動を教訓として防災につとめることになるでしょう。



「耐久」の創立者「濱口梧陵」が今また世界から認められたことを率直に喜び、この梧陵さんの偉業を皆様にお伝えする役割を与えられていることに誇りをもつ今日この頃です。

プロフィール

- ・昭和24年8月20日生まれ
- ・昭和43年3月 耐久高校卒業
- ・平成16年4月 広川町語り部サークル結成・代表
- ・平成26年4月 現職

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意下さい。

関東耐久会

関東耐久会 秋の行事 報告

十一月十五日(日曜日)明治座の演劇「かたき同志鑑賞とシーサイドホテル芝弥生「パステル亭」での親睦会を実施しました。

【参加者】松井順子・後藤 豊(S24卒)、田中美智子(S26卒)、長岡慶子・松田芳子(S28卒)、北村 治・上野山善子・清田千左・中尾美智子(S29卒)、大野博司(S32卒)、東 健次(S36卒)、楠井和代・小牧達男(S39卒)奥様、小島美津子(S42卒)、富山節子(S43卒)、安藤佳代・佐藤岐美代・保延佳世子(S44卒)、竹内一美(S46卒)、齊藤京子・塚本かよ子(S48卒)以上、敬称略。

恒例となった秋の行事はバス旅行から始まり、数年前からは劇団四季シアターでのミュージカル、歌舞伎座での歌舞伎と芸術鑑賞を実施してきました。今回は橋田壽賀子作、石井ふく子演出、藤山直美・



2015/11/15

三田佳子出演という豪華メンバードでの笑いと涙の下町人情演劇を鑑賞しました。終了後はタクシーで移動し、浜松町の展望レストランにて夜景を見ながらの賑やかな会食で楽しく過ごしました。

塚本かよ子(高25期)

関西耐久会

新生「関西耐久会」10周年

秋空に校歌高らか耐久会

平成27年10月4日(日)、ホテル大阪ベイタワーから耐久高校の校歌が聞こえてきました。指揮と歌唱指導は10年来の萩平温子(10期)菊山ひろみ(13期)コンビです。今回も170名もの耐久高校を愛するメンバーが集まり、宮崎裕子(31期)鈴木祥生(32期)の司会で総会が始まりました。則岡宏牟会長(18期)の挨拶、ご来賓代表の大西義弘同窓会会長(16期)と清水博行校長(29期)からご祝辞を頂きました。

続いての講演会は「心臓を診る」というすべての人に関心のあるテーマで、循環器



内科医師・二階利禮様(18期)からお話を伺いました。大事だけれど、ちよつとストライキを起こしたら、すぐに命を奪ってしまう厄介な心臓。病氣もいろいろあり深刻な臓器であります。その心臓に機嫌よく動いてもらうために、大切な「逆10か条」を教えていただきました。その中に、「気分転換をさせない!」という項目がありました。この関西耐久会には皆さんの生活の気分転換となり、知らない間に心臓のためになっていることを改めて知りました。「関西耐久会はクール!」ですね。

西田賢一郎副会長の乾杯のご発声と同時に大手前大学ジャズ研究部の演奏が始まりました。若い若い学生さんたちのジャズで元気をもらい、なれずしやみかんで故郷を感じ、あちらこちらで懐かしい再会の場面をみることができました。各期毎の写真撮影では、18期がチャンピオンでした。もちろん15期も安定した強さを続けています。今年は、新生「関西耐久会」の10周年です。萩平勲元会長・横山亨前会長・則岡宏牟会長が壇上で、思い出を語ってくれました。毎回講演会を行い、参加すれば何かが得られるというのが基本です。

続いて、恒例になった上野山応援団長(32期)率いる超若者のエールで盛り上がり、司会者のリードで「来年も来るぞ!」とみんな大声で約束しました。

来年も来るぞと誓う秋天へ

このような楽しい会ができるのは、10年前から続けている各期の幹事たちのおかげです。毎年、数回集まって準備をします。全ての期に幹事ができることを願います。地引 民子(高17期)

小畑産業株式会社 代表取締役 小畑 英三 (高18期) 〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505 ei-kobata@kbts.jp	塗装のことなら 中内塗装 中内 祐也 (高45期) 湯浅町山田10-13 TEL 63-3769	祝・国連「世界津波の日11月5日」制定 同窓会本部役員・会報委員一同	株式会社 和通 代表取締役 中田 實宏 (高17期) 〒640-8341 和歌山市黒田279-4 TEL 073-475-0310 FAX 073-475-0320	田辺法律事務所 弁護士 田辺 善彦 (高14期) 〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299
--	--	---	---	---

和歌山耐久会

和歌山耐久会総会

昨年、平成27年11月13日 和歌山耐久会総会
が、和歌山市「華月殿」にて開催されました。

・司 会 川島 忠弘(高37) 副会長
・開会挨拶 田辺 善彦(高14) 会長

・校歌斉唱
・来賓挨拶 大西 義弘(高16) 同窓会長

清水 博行(高29) 耐久高校校長
・記念演奏 耐久高校マンドリン部演奏

・総会議事進行 中田 實宏(高17) 幹事長

・活動案の提起 西 博義(高19)

耐久リバースを支援する会代表
乾 杯 白井 敏之(高34) 同窓会事務局長
・懇親会 近況報告、写真撮影等



全次第を通じて和やかで、有意義な総会でありました。

中田 實宏
(高17期)

関西耐久会会長 則岡宏牟氏(高18期)

「和歌山牟三荘」に谷崎潤一郎の旧宅(ナオミの家)を移築

則岡宏牟氏が、谷崎潤一郎の小説「痴人の愛」を執筆した旧宅(痴

人の愛のヒロインにちなんでナオミの家と名付けられた)を「和歌山牟三荘」に移築した。

2006年、神戸市岡本にあった旧宅が取り壊されることになり、保存運動が始まった。則岡氏は自費で旧宅の解体・移築の事業を申し出た。阪神間での移築先が見つからず、9年間、旧材は倉庫に保管されたままであったが、谷崎没後50年、有田川町への移

築が完了した。

この家は、谷崎潤一郎が、関東大震災の後、関西に移住し、初めて借りた借家の離れであり、約2年半、書斎として使用した。大正期のモダンな外観やオシャレな室内は、可能な限り当時を再現させたものであり、則岡氏が収集した谷崎にまつわる古書や資料、写真やパネルも展示されている。

この施設が、有田地方の文化発展に寄与できればとの期待が込められている。



12月19日、知事、

町長、谷崎潤一郎研究家の武庫川女子大

たつみ教授らがテープカットし開館した。当日は、500名(20日には120名)が訪れた。来館者は寒い中、旧宅を巡り、ガイドの説明に熱心に耳を傾けていた。この日は、町主催

のたつみ教授による講演もきびドームであり、有田川町の土生あたりは、谷崎色に染まった。

今回も、18期の同期生が



協力した。展示パネルは手作り、公開準備や当日のスタッフとして20人が集まった。「ナオミの家のそばに資料館を併設したい」則岡氏と仲間たちのドラマは、まだまだ終わらない。

なお、「ナオミの家」は毎日曜日に公開が予定されていて、ガイドによる説明もある。是非、一度お越し下さい。

坂本 康寛(高18期)

組織強化支援活動



高36期

高36期同窓会



新春の平成28年1月2日、有田市宮原町の橘家で昭和58年度卒業生学年同窓会が開催されました。今年度は私達が50歳を迎える節目の年であり、4名の先生方(吉松・柳・竹内・藤本先生)を含め、135名の参加となりました。

幹事長則岡孝彦君の開会の辞、吉松先生のご挨拶、物故者への黙祷に続き、柳先生の御発声で乾杯となり、会場は堰を切ったかのような大宴会となりました。会場のスクリーンには、前回の同窓会のスライドや高校当時、2年1組が文化祭で作成した映画「愛と友情の彼方へ」が流され、懐かしい思い出話に花を添えました。ビンゴゲームでは多くの豪華景品が用意され、みんな必死にカードを見つめる姿も……。また、同級生7名によるバンド生演奏も披露され、当時の懐かし



しいヒット曲に会場は一気に、ライブ会場へと変わりました。続いて、幹事長たつての希望で行われた二人羽織では、熱々のおでんを必死に食べさせられる男性陣の姿に、会場全体が笑いに包まれました。大盛り上がりの中、最後に校歌を全員で大合唱し、次回の幹事長を石垣博之君にお願いし、一次会は閉会となりました。その後、場所を変えて、二次会、三次会へと……楽しい一日となりました。

日頃は、生活に追われ、高校時代を懐かしむ時間はほとんどありませんが、このように昔の仲間が集まって、高校時代を懐かしむことができたことを大変うれしく思います。次回もみんな元気に集まれることを楽しみにしています。

戸川 しをり

組織強化支援事業

平成17年度より毎年
①卒業後4年を経過した学年
②50歳になられた学年
これら2学年を対象に同窓会開催を呼びかけ支援(案内状に対する経費負担等)を行うもので、毎年大変喜ばれております。

次はあなた達の番です!

- ・高65期(平成25年3月卒業)と
- ・高37期(昭和60年3月卒業)

上記、期の幹事・世話人の方には今から計画・準備をお願いします。すばらしい集会を演出して下さい。

貸出し用校章小旗と名札を用意してます。



クラス会・同窓会の集いに重宝されると思います。精々ご利用下さい。(事務局)

情報ボックス

医療法人大和会
宮井クリニック 宮井 将博(高34期)
(一部予約制) 泌尿器科 一般外科
TEL 0737-22-3333
〒649-0433 和歌山県有田市宮原町須谷533-1
診療時間 午前9:00~12:00 午後4:00~6:30 休診 木、土午後・日・祝日

日本料理 **うさ丸**
前田利三(高12期)
有田郡湯浅町宇舎前
TEL 0737(63) 2929

則岡宏牟
(高18期)
www.sunnyside-nn.net

橘家 橋爪正文(高39期)
Wedding Hall TACHIBANA
ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL http://www.tatibananaya.jp

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。(事務局)



高64期

第64期生同窓会



私たち64期生は、1月3日に同窓会を開催しました。高校を卒業してから早4年、初めての学年全体での同窓会でした。以下に今回の同窓会開催までの準備と当日の様子について報告させていただきます。

耐久高校では、卒業後4年の冬に学年全体の同窓会を開催することが恒例となっています。私たちも高校3年の冬に担任の先生からその話を聞き、各クラスの幹事を決め、学年全体の幹事団で一度顔合わせをしていました。本格的に準備し出したのは、去年の夏の終わりからです。私が大

学案内で高校訪問をさせていただいたときに、担任だった戸川先生とそろそろ準備し出そうかと話したのがきっかけです。ただ、240人規模の集まりとなると、仲良しグループやクラス単位の集まりのように軽いノリでは準備できません。できる限り64期生全員が久しぶりに顔を合わせられるようにしたい、そのために何ができるのか、どのような準備が必要なのか、会場との連絡調整や案内状送付など一から先生に教えていただきながら、準備を開始しました。

幹事団は6クラス男女1名ずつ、計12人います。LINEというSNSのグループトークという機能を使って、まずは幹事団全員が集まれる日を決め、9月中旬にアレックで約4年ぶりの顔合わせをしました。そこで、日時と会場、おおまかな内容を決め、各クラスで代表幹事、会場との連絡調整案内状送付、ビンゴ、スライドショー、当日の司会進行という役割分担をしました。それぞれが各役割の準備を進行しながら、LINEを有効活用して状況を報告し合い、10月と11月には中間報告会と最終確認をしました。幹事団の中には、就職している子や県外に下宿している子がいましたが、みんな協力し合いながら、久しぶりに同期生に会える日のため、わくわくしながら準備しました。

当日は、64期生146名、高校3年時の担任副担任の先生8名、計154名が集まりました。受付後に1・6組、2・5組、3・4組の2クラスずつ集合記念写真撮影をし、各クラスのテーブルに分かれて、幹事団長の森下君のあいさつ、細田先生の乾杯あいさつで、同窓会開始です。かつこよくなっている子、綺麗になっている子、大

人っぽくなっている子、あどけなさが残る子、全然変わらないう子、本当に懐かしい顔ぶれが勢ぞろいで、みんな終始話が弾んで止まない様子でした。開始から1時間ほど経過してから、高校時代の思い出と先生方からのメッセージムービー入りのスライドショーを上映し、その後ビンゴゲームをしました。スライドショーでは4年前の懐かしい写真に思い出話が弾み、ビンゴゲームでは、それぞれが今年初の運試しに真剣で、大盛り上がりな様子が見られました。楽しい時間はあっという間で、2時間弱という時間はすぐに経過してしまいました。解散してしまふのがとても惜しかったです。

今回の同窓会を通して、改めて高校3年間という時間のかけがえのなさと共に過ごした仲間の大切さを感じました。何かに一生懸命取り組んだ青春時代も、何気なく過ごした青春時代でも、あの時間をもう一度過ぐすことはできません。しかし、あの時間を共有した仲間はいつまでもこれからもずっと永遠の宝物です。「久しぶり!!」と楽しそうに話に花を咲かせる姿が、近況を報告し合い、まだまだ今後の人生に夢や希望を持って進んでいる姿が、本当に嬉しかったです。幹事をさせていただいたからこそ、そんな同期生の姿に人一倍喜びを感じることもできたと思います。またいつかみんなと会える日を楽しみに、それぞれの活躍を楽しみに……、また、いつか。

最後になりましたが、今回の同窓会開催にあたって、協力していただいた同窓会本部、先生方、集まってくれた同期生、本当にありがとうございました。

坂本 朱

同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!

有田川温泉
有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151総合ビルメンテナンス・特定人材派遣
(株)ウイ・キャン・コーポレーション取締役会長 岡 伸彦(高14期)
代表取締役 岡 勇作(高19期)
大阪市旭区中宮4丁目14番9号
TEL 06-6954-0346
FAX 06-6954-0577

ペットと泊まるログハウスの宿

パートナーズハウス ゆあぞ

横山 享
(高14期)
湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

「お家まるごと」お困りごと、ご相談ください

UGパナトップ

本店 有田川町徳田 185 電話 52-3247

会長 楠林 國昭 (高13期)

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。

旧中43期
耐久中学校第43期同窓会

10月8日、2年ぶりに旧中学校43期生の同窓会が有田市鮎茶屋で開かれた。甲・乙・丙の3クラス、総員150名だったが集まったのは17名、それでも遠く関東からも2名が駆けつけてにぎわった。記念撮影後、物故者に黙とうを捧げ、乾杯して皆の健康を祝った。60年ぶりに顔を合わせたものもいたが会話が進むと昔の顔となり、生徒のころの思い出などに花を咲かせた。我々は学制改革のあおりを受け、4年生の時、吉備・箕島・耐久と3分割にされ、涙ながら分かれた者たちである。「おい！ おまえ！」と遠慮のない会話が弾み約3時間。又の再会と健康を約束し、楽しい一日を終えた。

吉田 元重



高10期
恩師の墓参 QP会

秋晴れの一日、恩師、野崎英雄先生ご自宅のお仏壇とお墓にお参りをした。昨秋11月、85才で他界されたので、親睦会QP会のメンバー16名が石川県を訪問した。

先生との出会いは、約60年前の昭和30年春、耐久高校へ入学、1年A組の担任で、放課後も指導していただいた。短期間であったが、先生の印象が強く残り、2年に一度先生をお招きして、親睦を重ねてきた。当初、30名程度だったが、少しずつ同級生の体調不良や他界のため、最近は15〜16名になっている。

第1回は平成4（1992）年秋、先生の地元金沢方面だった。その後白浜、京都、山陰、高野山、白川郷、伊勢等で、第12回（2013年）の白浜が、先生と最後の親睦旅行だった。そして今回（第14回）は、お墓参りだけで奥様、お孫様とお会いし、先生との長いお付き合いの想い出話をし、時間を忘れる程だった。大変有意義な旅だった。先生のご冥福をお祈りし、先生のご遺志の親睦旅行を、今後とも続けていく事となるだろう。

坂口 計夫



高22期
二十人総活躍クラス会

私達、昭和45年卒3年4組のクラス会は平成元年に始まって以来、隔年行われ今回で14回になります。

28年間も途切れることなく続いているのは耐久高校のクラス会でも数少ないのではないでしょう。当日は海南市に嫁いだクラスメイトが地元黒江のまちをみんなに案内してくれました。私も黒江の漆器まつりに行ったことがありましたが、あんなに見どころが多いとは知りませんでした。中でのこぎりの歯状の家並みは生まれて初めてで、とても興味深かったです。そのあと、マリナーシティにあるホテルに移動、テラスのテーブルに分散してみんなでイタリア料理を楽しみました。この日の出席者は20人でした。

今回は、一人一役という幹事さんの発案で乾杯はもとより、開会のあいさつ、総合司会、校歌の指揮、飲み物の接待など皆で分担し、一億総活躍



榎本 一恵

Total Printing System
ICHIJYO
株式会社 一条

和歌山市湊紺屋町2丁目30番地 Tel.073-423-6950
(市民会館前) Fax.073-423-6955



新丸新本家
1643-0004 有田郡湯浅町湯浅1466-1
http://www.marushinhonke.com
湯浅醤油(有)
1643-0004 有田郡湯浅町湯浅1464
http://www.yuassyayou.co.jp



株式会社 柏原運送

柏原 政夫美 (高19期)
〒643-0032 有田郡有田町天満 60-1
TEL (0737) 52-5235
FAX (0737) 52-5630

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。(事務局)

26 年度予算・決算書

耐久高等学校同窓会

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

1. 収入の部

	26 年度予算額	26 年度決算額	増 減	備 考
入 会 金	1,012,500	1,007,500	-5,000	全日制 199 名 * 5,000 定時制 5 名 * 2,500
会 報 広 告	100,000	101,618	1,618	会報 34・35 号広告代
会 報 協 賛 金	150,000	118,900	-31,100	有田耐久会他より
寄 付 金	150,000	180,335	30,335	各期同窓会より
雑 収 入	30,000	19,256	-10,744	預金利息他
収 入 計	1,442,500	1,427,609	-14,891	
前 期 繰 越 金	1,686,718	1,686,718	0	
収 入 合 計	3,129,218	3,114,327	-14,891	

2. 支出の部

	26 年度予算額	26 年度決算額	増 減	備 考
1. 運 営 費				
会 議 費	30,000	6,890	-23,110	役員会議他
渉 外 費	40,000	10,210	-29,790	タイムス広告費
負 担 金	40,000	31,000	-9,000	県高等学校同窓会連絡協議会参加費他
旅 費	100,000	106,320	6,320	各支部総会出席旅費他
運 営 費 計	210,000	154,420	-55,580	
2. 活 動 費				
総 会 費	0	0	0	
母 校 援 助 費	600,000	578,824	-21,176	全国大会出場祝・備品寄贈・文化祭応援
同 窓 会 報 費	600,000	503,144	-96,856	会報 34・35 号印刷、郵送代他
助 成 費	150,000	153,160	3,160	各支部・期への援助
雑 費	140,000	6,967	-133,033	振込料他
活 動 費 計	1,490,000	1,242,095	-247,905	
3. 諸 費				
事 務 費	40,000	22,878	-17,122	切手、はがき代他
慶 弔 費	80,000	41,984	-38,016	弔電、生花他
払 戻 金	50,000	60,000	10,000	転出生
諸 費 計	170,000	124,862	-45,138	
支 出 計	1,870,000	1,521,377	-348,623	
4. 繰 出 金				
基 本 金	101,250	102,884	1,634	利息増、きのくに信金定期へ
積 立 金	200,000	0	-200,000	廃止
同窓会館設立基金	500,000	100,228	-399,772	減額
繰 出 金 計	801,250	203,112	-598,138	
5. 予 備 費	457,968	0	-457,968	
支 出 合 計	3,129,218	1,724,489	-1,404,729	
次 期 繰 越 金		1,389,838		

同窓会会計について

※収入…26 年度は、入会金として全日制 5,000 円・定時制 2,500 円を終身会費として頂いています。（中途転校・退学の場合は返金）他に同窓生各期や個人からの協賛金や寄付金など。

※支出…クラブ支援、国際交流、講演会、会報などの学校援助に直接・間接に還元。卒業後は、同窓生間や母校の情報を名簿や会報を通じて提供、各期の同窓会開催に援助、母校の支援、会の運営費ほか。

部活OB・OGたちの絆 女子バレーボール部の巻

耐久高校女子バレーボール部は、現在部員8名と小人数ですが、頑張つて練習に取り組んでいます。

部活動においては各部が日頃の成果を発揮し、実際に力を付けています。女子バレーボール部に関しましても、ここ数年着実に力を付け、ベスト8には入ることもあります。が、シード校の壁は厚く、それ以上の成績を残すことができません。選手たちは伝統を大切に、勉強もクラブ活動もしっかりと取り組むと、学校生活を充実させようとする本校生徒の気質は変わっていません。



をしています。選手たちは、この悔しさを忘れずに、先輩たちの成し遂げることのできなかつた目標に向かって日々練習に励んでいます。

本校の校訓は、明治37年に制定された「真美健」の理念を引き継いだものであるとともに、「文を修め、武を練る」という校風も脈々と繋がり、勉強、部活動、学校行事等の学校生活を充実させようとする本校生徒の気質は変わっていません。選手たちは伝統を大切に、勉強もクラブ活動もしっかりと取り組むと、学校生活を充実させようとする本校生徒の気質は変わっていません。

強もクラブ活動もしつかりと取り組み、学校生活を充実させようと頑張っています。今後とも、ご指導ご声援を賜りますようお願いいたします。

顧問

柏原 政孝



◎COP21(パリ協定) 地球温暖化対策で歴史的合意の記事が新聞各紙に載った(昨年12月)。干ばつ、異常気象、海面水位の上昇、感染症の拡大、生物種の絶滅危機など、温暖化の脅威が身近になってきている。

何が歴史的合意なのかは、従来が先進国だけの温室効果ガス削減義務づけだったのに対し、パリ協定が196カ国が参加する史上初の合意となったこと。世界の平均気温上昇を、産業革命前に比べ今世紀末2度を下回る1.5度に抑える努力が条



同窓 俳壇

・ なつかしき文字にときめく賀状かな

坂本 美恵子 (高18期)

・ 山茶花や窓うつ雨にゆれており

田辺 由美子 (高18期)

同窓 歌壇

・ 髪型も背丈も逝きし弟に

似し人のあり 駅の雑踏

脇中 佐智子 (高10期)

・ 梧陵翁の館に活くる蓮華

朝露ふくみ殿下を迎ふ

中内 京子 (高15期)

『編集後記』

梅一輪 一輪ほどの あたたかさ 嵐雪

今年は「丙申」。皆さんにとって佳きことに縁(猿)有り、悪しきことは去る(申)年であるように願っています。

ところで、昨年は耐久高校同窓会にとつて画期的かつ歴史的な出来事が次々に起きた年でした。それは「濱口梧陵」翁の「稲むらの火」が、天皇・皇后両陛下や皇太子殿下の行幸啓に繋がり、さらに「世界津波の日」として全世界にその偉業が発信されたことです。今回の会報でも大西会長のあいさつや崎山光一館長の特集記事で詳しく紹介されています。

また、校舎内に当校の貴重な歴史資料を展示した「耐久史学館」が新設されたことも意義深い事業でした。ぜひ皆さんも気軽にお立ち寄り頂き、我が母校の歴史にふれるとともに、過ぎ去りし高校時代にタイムスリップして心を温める機会にしてください。

その他、関東耐久会の演劇鑑賞や10周年の関西耐久会、和歌山耐久会総会、各期の同窓会の様子等々、実況中継のように伝わってきて、楽しく拝読させてもらいました。

今回も多くの方々に紙面を飾って頂き感謝申し上げますとともに、更なる会報誌の充実に向けて努力していきたく考えています。

